

発達した低気圧の影響で、市内の市街地は18日、断続的に雪が舞った。六甲山の山頂付近は雪が積もり、厳しい寒さで木々の枝が白くなる霧氷も見られた。

神戸市によると、裏六甲ドライブウェイでは、スリップ事故防止のため、

六甲山 銀世界

め、今季初めて融雪剤の散布を行った。

山頂近くの六甲山スノーパークでは、最低気温がマイナス6.9度を記録。人工雪のゲレンデの周囲も一面の銀世界となった。担当者は「平年以上に冷え込みが厳しく、人工雪も作りやすい。年末の繁忙期へ向けて雪質は良好です」と話していた。

(小林良多)



木々が雪化粧し、銀世界となった六甲山上＝18日午後、灘区六甲山町北六甲